

教団新報

定 価 1 部 140 円 (本 体 133 円 千 共 200 円)
予 約 購 読 料 1 年 分 千 共 5,000 円
紙 代 の み 3,500 円
振 替 00140-9-145275
本 紙 を 購 読 希 望 の 方 は 、 前 金 を
そ え て 、 お 近 く の キ リ ス ト 教 書 店
へ お 申 し 込 み 下 さ い 。
教 会 の 購 読 料 は 負 担 金 に 含 み ま す 。

発 行 所 日 本 基 督 教 団
169-0051 東 京 都 新 宿 区 西 早 稲 田 2-3-18
日 本 キ リ ス ト 教 会 館 内 電 話 03(3202)0546
FAX 03(3207)3918
E-mail:shimpoh-c@uccj.org
発 行 人 竹 前 昇
編 集 主 筆 竹 澤 知 代 志
印 刷 所 株 式 会 社 き か ん し

教区総会報告 ③

沖縄・東海・関東・奥羽・西東京・東京

「正しい聖礼典」各教区で議論に

教区総会報告特集第三集をお届けする。神奈川教区を除いて、ほぼ全教区の総会を終えた。例年関心が集まり議論沸騰する諸課題は、今年も各教区を横断して全教団的な議論となった。その一方で、従来はあまり表面に出て来なかった問題、各教区固有の新しい課題が浮き彫りになっている。

キリスト教センターめぐり激論

沖縄

第五九回沖縄教区定期総会は、五月二九、三〇両日、きのわセミナーハウスを会場に、開会時正議員四六名中三七名が出席して開催された。

昨年引き続き、問安使を拒否した今総会で山里勝一議長は、教団との関わりに「しばらくの間距離を置く」ことを議長報告で改めて確認し、将来教会検討委員会」が合同のあり方を鋭意検討していると述べ、「合同は誤りであったと総括出来れば良いと思っている」とつけ加えた。

もう一つの重要主題は、沖縄キリスト教センター（以下センターと略）問題で、総会の大半の時間が割かれ、三役・常置委員選挙の行われない今総会はセンター問題一色だった。

03年、センターの宿泊業務が違法との当局の指摘を受けて以来、宿泊業務を中止し、事業運営検討特別委員会が昨年九月、「維持、機能縮小、売却或いは賃貸、いずれを選択しても、赤字は不可避」との答申を出した。

この答申を受けて常置委員会では、センターの事業を一部閉鎖し、職員全員を本年六月三〇日付けで解雇する（四号議案）、「教区研修センターからの借入金二九八〇万円の弁済を免除する（五号）、「センターの維持、残された事業のためセンター管理委員会を設置する（六号）の関連三議案を総会に提案していた。

これに対し、職員の全員解雇に反対し、事業の継続を訴える望月智議員（志真）志伝道所、竹花和成議員（首里）の建議、案が議案として採択され、常置委員

会議案と対峙。一日目夕食後、センターに関する協議会が開催された。

協議会では活発な意見表明が続いた。センターは十八年間、宣教の場として活用されて来た。一般客が無理でも教区内外の教会員の利用を活性化すれば危機を乗り越えられる「開館当時の『利益を教区の互助のために使おう』との期待がセンターに過大な負担となった」「教区が借金をしてセンターを建て、教区の財産としてに返せというのは筋が

通らない」と、教区とセンターの関係を問い直す意見が相次いだ。

協議会後、常置委員会が直ちに開催され、その合意が、二日目午後、新議長として議場に提示された。それは、センター関連三議案を来年の定期総会まで継続とし、センターと教区の関係について、05年度末までに方向性を出す」というものだった。

常置委員会が先の決定を覆したことは訳がある。建築設計事務所から建築基準法の但し書き（特例）、第一種中高層住居専用地域内であっても、良好な住居の環境を害する恐れがなく、又は公益上止むを得ないと認めた場合はこの限りでない」を援用すれば、事業の継続は可能であるとの新提案が教区について最近示されたからだだった。



センター問題で活発な議論が続いた

荒野の志

た唯一の前向きな継続プランに託して見ようというところで議場が合意し、常置委提案と議員提案の折衷議案を可決して、結論を一年先に持ち越した形となった。

（永井清陽報）

▼火のような猩々緋の服折を着、唐冠繻金の兜を被った『槍中村』の姿は戦場の華、敵にとっては脅威、見方には信頼の的であった。

▼簡井との戦、初陣に臨む主君筋の若武者に請われ、中村新兵衛は服折と唐冠を貸し与える。若武者は『槍中村』の形に替える敵兵相手に、存分な働きを見せる。一方、黒皮緋の冑、南蛮鉄姿の新兵衛は、二番槍の駒を進める。敵は猩々緋の恨みを黒皮緋に復讐せんとばかり猛り立つ。▼いつもは虎に向かう羊のような怖気、敵にある。勝手が違うと感じた新兵衛は平素の二倍もの力を振るった。

篠ノ井教会設立を涙で報告

東海

第七九回東海教区定期総会は、五月二四、二五、二六、二七の四日間、山本将信（松本市）を会場に開催された。正議員一九四名中一六五名出席。

議事冒頭の教区議長報告、教団問安使の竹前昇総幹事挨拶に続いて、教区議長選挙が行われた。今回は議長、副議長、書記の三役が東海教区規則内規の多選禁止にかり、伝道委員長を含む教区四役の顔ぶれが

一新した。新議長には北紀吉（愛宕町）、副議長に山本将信（篠ノ井）、書記に栗原清（岩手）、伝道委員長に小出望（静岡草深）の各氏がそれぞれ選出された。

また本教区総会にて、篠ノ井教会設立に関する議案が上程され、満場一致で可決された。篠ノ井伝道所は、一九六一年四月に設立。二〇〇四年三月に現任陪餐会員数が三〇名となり、同年

九月二日に開催された臨時教区総会において、第二種教会申請を決議した。篠ノ井伝道所の役員は、これまでの経緯を涙と共に報告し、教区総会にて教会設立に関する件が可決されたことに対する謝辞を述べた。

続けて、主任担任教師の山本将信牧師が挨拶を述べ、教団総会副議長でもある小林眞議員が篠ノ井教会を覚えてきたが、その活動報告・

特設委員会継続に関する件では、部落差別問題特別委員会を継続することが可決された。

本教区総会には、関東教区より正田國麿宣教委員長が派遣され、一日目の夕食後、被災地の現状報告とこれまでの支援活動に対する謝辞が述べられた。

東海教区は昨年度、「新潟中越震災」支援活動を行ってきたが、その活動報告・喜びを語った。

また昨年度末に二名の教師が隠退されたが、当日議場で挨拶された小島章弘隠退教師、ならびに「みんなの顔を見ると涙が出てしまうから」と当日欠席された石川守正隠退教師を覚え、謝辞が述べられ、祈りが捧げられた。

教区常置委員選挙結果

【教職】 大沢秀夫（松本）、西之園路子（蒲原）、伊藤瑞男（静岡）、長倉勉（三島）

【信徒】 辻昭（静岡）、塩入隆（長野本郷）、小林貞夫（目下郡）、古川昭（遠州米光）

（西之園路子報）

巻頭作品は、『恩讐の彼方に』。示唆的だと思う。

「地震被災」支援に集中

関 東

「今総会は地震総会と心得ている。飯塚拓也書記の発言がいみじくも、この総会の全てを物語っていた。五月三十一日、六月一日の両日、大宮ソニックシティを会場に、正議員二六四名中、開会時一五六名の出席を得て開催された第五回関東教区総会は、その時間も関心も、大方、洪水・地震・被害についての報告、今後の対応に関する議論に明けられた。

議案の審議に先立つ、プロジェクトを用いての被災支援報告では、被害の根深さを再認識させられた。「雪掘りとは、悲しみを掘り出すこと」というナレーションが耳に残った。また、六日町教会の新井純牧師は、ボランティア活動発足

時を回顧し「私たちの思いを超えた方が、一人ひとりを活かして用いられ、私たちを通して働かれる。一人ひとりの背後に神がおられる」と、災害支援によって生まれた地域社会との連帯・信頼関係、同労者・諸教会への感謝を述べた。

『新潟県中越地震』被災教会・被災地支援募金の二つのとし、復興を祈り、献金を



逝去者記念礼拝

五月二九日から三十日にわたって、第十三回西東京教区定期総会が国分寺教会において開催された。横山幸夫牧師の説教による開会礼拝の後、議員総数二百二名中百三十名の出席が確認され、開会が宣言された。

准議員承認、組織会、議事日程承認と続き、教団問安使山北宣久教団総会議長の挨拶を受けた。議場からは、「セクシュアル・ハラスメント問題」について言及がないことや「合同のとなえなおし」について説明不十分であるとの指摘がなされた。また、挨拶文中の「正しい聖礼典執行について、議場から質問がなされ、議論が交わされた。

村田元関東教区副議長に

「聖礼典執行」めぐり激論

西東京

総会の報告がないことについて、西東京教区として統一した参加をしたのでは

なく、一人ひとりが教団に関わったと認識しているからである、と説明した。

次に久山議長は、諸報告を続けながら、議長と副議長選挙に入ることを、議場に語り了承を得た。即座に選挙が行われた。議長には



准允式を受けた三名

吉岡光人（吉祥寺、副議長には若月健悟（国分寺）が選出された。書記は、正副新議長が相談して、翌日指名することになった。

夕食休憩の後、常置委員選挙が行われた。吉岡議長は、二〇〇四年度教区剰余金処分件まで上程したところで、一日目の議事の終了を告げた。常置委員選挙の開票は、翌日となった

二日目は、追悼式と四月に教区に着任した教師の紹介を行った後、書記の選出が行われた。道家紀一（井草）が正副議長から指名を受け、議場は承認した。続いて准允式の件が直ちに諮られた。次の三名の教師が承認され、准允を受けた。

北川善也（阿佐ヶ谷）、中西碧（八王子栄光）、吉岡喜人（南三鷹）

昼食休憩を挟んで、各報告審査委員会の報告を受け、決算も含めた二〇〇四年度諸報告が承認された。

次に、二〇〇五年度各都委員の選任、各部計画、予算の審議に入り、若干の質疑の後、可決された。小休憩の後、「土地建物特別会計規則変更の件」「北海教区との宣教協約の件」の審議が行われ、原案通り可決された。最後に、吉岡議長の司式による閉会礼拝をささげて、総会を閉じた。

常置委員（半数改選）

【教師】真壁巖（相愛、久山庫平（南三鷹）、山畑謙（小金井緑町）

【信徒】高橋豊（白鷺、小中乃美子（永福町）、川原正言（南三鷹）（道家紀一報）

議長報告を審議、原案承認

奥 羽



按手・准允受領者の紹介

第六〇回奥羽教区定期総会が、五月二四～二五日、盛岡市の奥羽キリスト教センターにて開催された。開会時の出席は正議員一一五名中一〇六名。

開会礼拝後、組織会、議事日程の承認、新任教師紹介、教区外から三名、総会委員選任、さらに来賓の紹介がなされた。

総会委員等の選任の後、森分和基教師（宮古）より

の按手受領願い、さらに、丸田久子氏（秋田飯島）および高橋潔氏（柴宿）の准允受領願いが審議され、三教師それぞれに満場一致で承認された。その後直ちに、按手礼式並びに准允式が執行され、議場全体が大きな喜びに包まれた。

休憩の後、議事に入り、議長報告はか諸報告が順次なされた。議長報告に関しては、地方（教区）にお

る課題を踏まえた報告であるとの評価のほか、核燃料サイクル問題への取り組みのあり方等教区の宣教姿勢に対する異議、二種教職制についての教区としての見解への問い等、意見や質問が多く出された。

この後、議長報告は総務宣教審査委員会において時間をかけて審議され、同委員会より大幅な修正案が提

案されたが、採決の結果否決された。議長報告は承認された。

諸報告の合間に選挙が行なわれ、議長、副議長選挙共に一回目の投票で、議長に邑原宗男教師（江刺、三期目）が、副議長に渡辺正男教師（青森戸山、三期目）が当選した。また、書記には岡村宣教師（鷹巣）が初当選した。

一日目夜には、教団問安使の山北宣久議長の挨拶と

の制約もあり、議論が深められるには至らなかった。准允式に臨む教師が一人づつ所信を述べ、逝去教師の関係者が全員壇上に上げられて紹介されるなど、実に細やか丁寧な紹介がなされた。来賓には謝辞と共に「お土産」も手渡された。

「血の通った教区」を標榜する関東教区の特徴と言え

ようか。

三役と宣教委員長選挙が行われた。三浦修議長（埼玉和光）と村田元副議長（原山正道（四條町）、上島一高（新潟）、原田史郎（東中通）

【信徒】金刺一雄（上尾合同）、茨木公子（川越）、滝川英子（七里）、和田献一（氏家、内山一（鹿島）

常置委員

【教職】塚本潤一（高崎、石橋秀雄（越谷）、平山正道（四條町）、上島一高（新潟）、原田史郎（東中通）

【信徒】金刺一雄（上尾合同）、茨木公子（川越）、滝川英子（七里）、和田献一（氏家、内山一（鹿島）

常置委員（半数改選）

【教師】雲然俊美（秋田桜、松村重雄（弘前南、太田春夫（新生金石）、白戸清野（辺地）

【信徒】鈴木務（秋田高陽、内藤和栄（土沢）、三上敦子（田名部）（当選者一名辞退による補充員繰上げ）（雲然俊美報）

伝道のともしび

「さいはて」こそ伝道の拠点

輪島教会牧師 勇 文人

線が廃止となったために奥能登から鉄路は完全に消えた、交通手段はバスと車しかない。同じ能登伝道圏を構成している「隣の」七尾教会まで六〇キロ、羽咋教会まで七五キロ離れている。さらに金沢までは一二〇キロという地に住むと、車は貴重な交通手段となる。私の車の走行距離は毎年三万キロを超える。教会を訪ねる遠来の方が口をそろえて言うのは「遠いですね」。なるほど、奥能登の地、輪島は「辺境の地」「さいはての地」なところだが、こんな「さいはての

朝、浜方面に車で向かう途中、何台もの観光バスとすれ違う。「奥能登さいはての地めぐり」や「辺境を旅する」などと銘打ってバスツアーが実施されているのが分かる。私は六年前、輪島に遭わされた当初、この地が「さいはての地」と呼ばれていることに、あまり良い感情を持たなかった。しかし、鉛色の雲に覆われ牧師館を揺らすような激しい暴風雪が連日吹きすさぶ冬は、荒涼としたイメージさえ漂わせる。能登半島の北端にある輪島は鉄道が四年前に廃止となり（今年三月には珠洲

で祈ることがいやですぐに離れたという方だ。しかし、三十年後に夕拝に出るようになり、洗礼へと導かれた。三年前に受洗した婦人は朝市の煎餅屋さん。約四十年前に子どもたちを教会学校に送り出したことが教会とかわったきっかけだが、四十年後に夕拝に出席するようになつて洗礼へと導かれ

にきたものの献金当番で祈ることがいやですぐに離れたという方だ。しかし、三十年後に夕拝に出るようになり、洗礼へと導かれた。三年前に受洗した婦人は朝市の煎餅屋さん。約四十年前に子どもたちを教会学校に送り出したことが教会とかわったきっかけだが、四十年後に夕拝に出席するようになつて洗礼へと導かれ



教会員らの和太鼓集団「ボアネルゲ」などによって毎年開かれる賛美集会

た。今年のイースターには二人の受洗者が与えられたが、そのうちの一人はかつてこの地にあったキリスト教幼稚園を三十年前に卒園した男性で、元園長との交流を通して礼拝に出席するようになり受洗へと導かれた。このように、時かたれた種の収穫が幾世代もあとになることは、輪島教会においては珍しくない。この地での伝道は「林業的な伝道」だと言えるのかもしれない。

だからだろうか。日本伝道は、輪島教会にとっていつも祈りだった。この地から巣立っていつて、日本各地の教会に連なっている人が少なくないからだ。具体的な人たちの名前と、その人が連なっている教会を覚えて祈っているし、輪島を離れていった家族や友人たちが連なることになるかもしれない教会のことを覚え、日本基督教団のためにも祈っている。

た。今年のイースターには二人の受洗者が与えられたが、そのうちの一人はかつてこの地にあったキリスト教幼稚園を三十年前に卒園した男性で、元園長との交流を通して礼拝に出席するようになり受洗へと導かれた。このように、時かたれた種の収穫が幾世代もあとになることは、輪島教会においては珍しくない。この地での伝道は「林業的な伝道」だと言えるのかもしれない。



小出教会屋根の雪下し

被災教会支援募金（朝岡瑞子報）

「新潟県中越地震」被災教会会堂等再建支援委員会が発足し、一億五千万円の目標を掲げ、全国の諸教会に支援のお願いを始めて半年が経ちました。現在約三千万円の募金

家族、体調を崩された信徒の方々、そのような厳しい中でなお主のお守りに感謝し、主を信じて前向きに歩んでおられるとのこと。新たな雪の季節を迎える前に、どうか再建・復興させていたきたいと願います。多額の会堂建築負債を抱えた教会、移転再建を決定した教会もあります。信徒も被災した中で、各教会自身での再建は非常に困難なことです。

雪がとけて、倒壊した建物の跡が現れた。川口町にて

篤いお祈りと温かいご支援を
中越地震・再建支援委員会



各教区総会が続いている。残念ながら沖縄、京都の両教区は問安使を拒否されたが、それゆえにこそ対話を求めて行かねばならないと感じている。沖縄教区総会には愛澤豊重総務幹事を傍聴せしめたので、報告を受け対応していきたいと思っている。

四役で分担して一五の教区総会を問安しているが、幹事たちも一人一教区ずつ随行訪問させていたのだ。

私は四国、奥羽、東北、西東京、関東の五教区を問安させていたが、各々の教区固有の宣教課

必要なのは、主が与えてくださる。それが、民代さんが信じてきたことだし、事実、これまでそうだった。

民代さんの父、森敬造氏は関西学院に学んだメソジスト教会の牧師だった。必ず民主主義の時代が来ると三番目の娘に民代と名付けた。父の転任に伴い、家族も石川、愛知、愛媛と住まいを移った。戦争となり四年ごとの転任がなくなる。民代さんは、三瓶教会で小学生から高校生までを過ごし、父と母が教会に仕える姿を間近に見てゆく。

終戦後、女学校を卒業した民代さんは、姉の学んだ東洋英和女学院に進み、たが道が開けなかった。東京・府中に開

必要なのは、主が与えてくださる。それが、民代さんが信じてきたことだし、事実、これまでそうだった。

民代さんの父、森敬造氏は関西学院に学んだメソジスト教会の牧師だった。必ず民主主義の時代が来ると三番目の娘に民代と名付けた。父の転任に伴い、家族も石川、愛知、愛媛と住まいを移った。戦争となり四年ごとの転任がなくなる。民代さんは、三瓶教会で小学生から高校生までを過ごし、父と母が教会に仕える姿を間近に見てゆく。

終戦後、女学校を卒業した民代さんは、姉の学んだ東洋英和女学院に進み、たが道が開けなかった。東京・府中に開

必要なのは、主が与えてくださる。それが、民代さんが信じてきたことだし、事実、これまでそうだった。

民代さんの父、森敬造氏は関西学院に学んだメソジスト教会の牧師だった。必ず民主主義の時代が来ると三番目の娘に民代と名付けた。父の転任に伴い、家族も石川、愛知、愛媛と住まいを移った。戦争となり四年ごとの転任がなくなる。民代さんは、三瓶教会で小学生から高校生までを過ごし、父と母が教会に仕える姿を間近に見てゆく。

終戦後、女学校を卒業した民代さんは、姉の学んだ東洋英和女学院に進み、たが道が開けなかった。東京・府中に開



1932 年、石川・七尾生まれ。南部坂幼稚園元園長、麻布南部教会会員。

（教団総会議長 山北宣久）